様式第 1-5（2023.7.1 版）　　多機関共同研究用

生物学的切除可能境界膵癌に対する術前補助療法の現状把握のための多施設共同後方視的研究

１．研究の対象

2012 年 1 月～2023 年 12 月までに当院で膵癌に対して術前治療後に手術を受けられた方のうち、術前治療前の腫瘍マーカーCA19-9 が 500 U/ml 以上の方

２．研究の概要

膵癌は切除可能例でも再発率が高く予後不良です。臨床試験の結果により解剖学的切除可能膵癌に対する術前補助療法の有効性が示されましたが、そのうち腫瘍マーカーである CA19-9 高値（＞500 U/mL）の症例は生物学的悪性度が高く予後不良であり、最適な術前治療戦略は確立されていません。本研究では、生物学的切除可能境界膵癌に対する術前補助療法の現状を後方視的に解析し、本病態に対する術前治療戦略の開発に資する知見を得ることを目的とします。

研究期間: 所属機関の長の研究実施許可日～2029 年 12 月 31 日

研究目的: CA19-9 高値を呈する生物学的切除可能境界膵癌における術前補助療法の現状を把握すること。

研究方法: 研究対象者の診療録を用いて、術前治療のレジメンの種類、施行回数、治療期間について後ろ向きに調査し、これらの術前治療因子および CA19-9 値と予後との関連を評価します。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、予後 等

４．外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

対応表は、各機関の研究責任者が保管・管理します。

５．研究組織

主たる研究機関及び研究代表者

大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学 講師 秋田 裕史

共同研究機関及び研究責任者

大阪大学 消化器外科学 講師 秋田 裕史

大阪国際がんセンター 主任部長 小林 省吾

市立池田病院 消化器外科 部長 前田 栄

市立豊中病院 消化器外科 部長 清水 潤三

市立伊丹病院 消化器外科 主任部長 森本 修邦

堺市立総合医療センター 肝胆膵外科担当部長 村上 昌裕

大阪急性期・総合医療センター 消化器外科 副部長 友國 晃

箕面市立病院 外科 医長 野口 幸蔵

八尾市立病院 外科科長兼消化器外科医長 桂 宜輝

大阪医療センター 肝胆膵外科 科長 濵 直樹

兵庫県立西宮病院 外科 消化器外科 部長 橋本 和彦
大阪ろうさい病院 外科・消化器外科 部長 辻江 正徳
JCHO 星ヶ丘医療センター 外科 副院長 福地 成晃
大阪けいさつ病院 消化器外科 副部長 浅岡 忠史
大阪府済生会 富田林病院 副院長 外科部長 辻江 正樹
JCHO 大阪病院 外科 部長 和田 浩志
りんくう総合医療センター 副病院長・消化器外科主任部長 種村 匡弘
関西ろうさい病院 肝胆膵外科部長 岩上 佳史
紀南病院 外科部長 橋本 安司
市立東大阪医療センター 消化器外科 主任医長 山下 雅史
日本生命病院 消化器外科 副部長 星野 宏光
市立貝塚病院 副院長 外科・消化器外科 部長 金 鏞国
JCHO 大阪みなと中央病院 外科 部長 畠野 尚典
近畿大学奈良病院 消化器外科 医学部講師 古賀 睦人

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター　消化器外科　肝胆膵グループ
住所：〒５４１－８５６７　大阪市中央区大手前３－１－６９
電話：０６－６９４５－１１８１
研究責任者：主任部長 小林 省吾
連絡先担当者：副部長 福田 泰也

当院のお問い合わせ先
堺市立総合医療センター　肝胆膵外科
住所：〒５９３－８３０４　堺市西区家原寺町１丁１番１号
電話：０７２－２７２－１１９９（代表）
研究責任者：部長　村上　昌裕
連絡先担当者：部長　村上　昌裕

----------**以上**